港区立芝浦港南区民センター
及び港区立台場区民センター
指定管理者候補者選考委員会
報　告　書

平成30年6月26日

港区立芝浦港南区民センター

及び港区立台場区民センター

指定管理者候補者選考委員会

目　　次

はじめに

Ⅰ　選考した指定管理者候補者について　・・・・・・・・・Ｐ．１

Ⅱ　選考経過について　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２

Ⅲ　選考対象者について　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４

Ⅳ　選考結果について　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５

Ⅴ　最終選考結果について　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７

はじめに

本報告書は、港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センターの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センター指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過並びに結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイディア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センター指定管理者候補者選考委員会」は、芝浦港南区民センター及び台場区民センターの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。また、選考にあたっては、事業者に対して事業計画内容の丁寧な説明を求めました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センター指定管理者候補者には、２事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めましたが、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

選ばれた事業者には、港区立区民センター条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

平成３０年６月２６日

港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センター
指定管理者候補者選考委員会
委員長　白石　賢

Ⅰ　選考した指定管理者候補者について

１　指定管理者候補者

名　称	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団
代表者	理事長　野村　茂
所在地	東京都港区赤坂四丁目１８番１３号

２　対象施設

施設の名称	所在地
港区立芝浦港南区民センター	東京都港区芝浦四丁目１３番１号
港区立台場区民センター	東京都港区台場一丁目５番１号

３　指定期間

平成３１年４月１日から平成３６年３月３１日まで（５年）

４　選考の理由

（１）　安定した事業運営

類似施設の運営実績があり、財務規模、安全性等の財務状況分析結果から、指定期間中も安定して管理運営を行う事業者であると認められます。

（２）　地域団体等との協働

「芝浦運河まつり」への参加や、東京海洋大学の学芸員を講師とした講座の実施など、区や地区内の町会・商店会、大学等と積極的に連携を図り、地域に根ざした施設を目指す姿勢が評価できます。

（３）　芝浦港南地区の地域特性把握と的確な事業提案

芝浦港南・台場の両区民センターや地域の特性・課題を捉えた事業提案がなされています。また、事業内容についても、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代が参加することのできる事業を用意するとともに、在勤者をターゲットとした事業を新規展開するなど、具体的で実効性の高い提案内容となっています。

（４）　施設長候補者

施設長候補者の様子から、誠実さや、自信が感じられるとともに、施設運営に対する積極的な姿勢がみられ、指定管理者としての意欲が感じられます。

Ⅱ　選考経過について

１　選考の方法

（１）第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として２事業者を選考しました。

（２）第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、（第一次審査と第二次審査とを併せた）総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

２　選考委員会の構成

委 員 長	白　石　賢	首都大学東京都市環境学部教授
副委員長	星　川　邦　昭	港区芝浦港南地区総合支所長
委　　員	塩　原　良　和	慶応義塾大学法学部教授
〃	黒　田　美亜紀	明治学院大学法学部法律学科教授
〃	米　澤　旦	明治学院大学社会学部社会福祉学科准教授
〃	上　村　隆	港区麻布地区総合支所管理課長
〃	大　浦　昇	港区芝浦港南地区総合支所協働推進課長

３　公認会計士

坂　本　亮	Cenxus Consulting 株式会社

４　選考の進め方

応募書類提出（申請書・財務諸表・管理運営計画書等）

公認会計士等による財務状況等の調査・分析を行い、財務状況評価は可若しくは不可、資金計画評価はＡ～Ｅの５段階で評価します。

選考委員による書類審査

＜第一次審査＞

１　全事業者の財務状況の調査・分析を行い、可（安定的に経営基盤を有している）若しくは不可（安定的に経営基盤を有していない）で評価します。
２　全事業者の資金計画の調査・分析を行い、Ａ（最優良）～Ｅ（急改善）までの５段階で評価します。
３　事業者ごとに、選考基準の各項目に対応した配点に基づき、各選考委員が書類審査を行い、採点します。
４　公認会計士等による財務状況分析に基づく評価と、各選考委員による書類審査の合計得点により総合的な審査を行い、概ね上位２～３者を第一次審査通過者とします。

プレゼンテーション及びヒアリング、計画書等の総合評価

＜第二次審査＞

１　第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション（各事業者１０分程度）及びヒアリング（各事業者１０分程度）を行います。
２　全てのプレゼンテーションとヒアリングが終了した後、各選考委員による審査項目を中心とした評価を行い、採点します。
３　第一次審査と第二次審査の点数を合計し、指定管理者候補者を選考します。

５　選考委員会等の開催状況及び経過

（１）第１回選考委員会

日　時　　平成３０年４月４日（水曜日）　午前９時００分～午前１０時１５分

場　所　　高輪地区総合支所４階会議室

議　題　　委員の委嘱について

公募要項について

第一次及び第二次審査基準について

（２）公募手続き

ア　　公募説明会　　平成３０年４月１７日（火曜日）

イ　　施設見学会　　平成３０年４月１８日（水曜日）

ウ　　質問書受付　　平成３０年４月２３日（月曜日）～４月２７日（金曜日）

エ　　質問への回答　　平成３０年５月１０日（木曜日）

オ　　計画書類等受付　　平成３０年５月２３日（水曜日）～５月２４日（木曜日）

（３）第２回選考委員会(第一次審査)

日　時　　平成３０年６月８日（金曜日）　午前９時００分～午前１０時１０分

場　所　　港区役所９階研修室

議　題　　公認会計士からの財務状況等分析結果の報告

第一次審査（書類審査）通過事業者の決定について

第二次審査について

（４）第３回選考委員会（第二次審査）

日　時　　平成３０年６月２６日（火曜日）　午前９時００分～午前１０時２０分

場　所　　高輪地区総合支所４階会議室

議　題　　第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

指定管理者候補者の決定について

Ⅲ　選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	東京都港区赤坂四丁目１８番１３号
2	事業者Ｂ	

Ⅳ　選考結果について

１　第一次審査

（１）財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、Ａ～Ｅの５段階総合評価を行いました。

（２）選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況評価	資金計画評価	合計点数（1，470点満点）
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	可	A	１，０５０点
2	事業者Ｂ	可	B	１，０４１点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

Ａ：最優良、Ｂ：優良、Ｃ：普通、Ｄ：要改善、Ｅ：急改善

（３）選考経過

各委員が候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	・類似施設の運営実績があり、財務規模、安全性等の財務状況分析結果からも、指定期間中安定して管理運営を行う事業者であると認められる。 ・地域防災計画をよく理解し、意識の高さがうかがえる。

	・地域との連携について、具体的な取組のイメージを持っており、地域の方が大切にしている事業についても把握している。 ・区の計画を意識し、地域の特性を活かした事業提案となっている。また、事業面の充実に比べ、事業費は安く抑えられており、費用対効果という面でも評価できる。
事業者Ｂ	・管理運営に関する記述が具体的で、くるみんマーク、トモニンマークの取得等、働き方改革にも積極的である。 ・職員の研修制度や表彰制度が整っていたり、法人として、環境問題に関する様々な取組をしているなど、組織としての統治機能や組織力が強い印象を受けた。 ・「効果的で質の高い事業提供」という点で、具体性が足りない。 ・台場区民センターの図書室運営について、再委託せずに行うことができるのかという点に疑問を感じた。

以上の点を総合的に勘案して、両事業者を第一次審査通過者としました。

２　第二次審査

（１）プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者がそれぞれ１０分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき１０分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

（２）採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに審査しました。

順位	事業者の名称	総合点数 （2，170点満点）	第一次審査点数 （1，470点満点）	第二次審査点数 （700点満点）
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	１，５３４点	１，０５０点	４８４点
2	事業者Ｂ	１，４９３点	１，０４１点	４５２点

（３）選考経過

各委員が第一次審査通過事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	・「趣味でつながる」という、新たな視点からのコミュニティ作りについての提案が評価できる。 ・区や地区内の町会・商店会、大学等と積極的に連携を図り、地域に根ざした施設を目指す姿勢が評価できる。 ・芝浦港南・台場の両区民センターや地域の特性・課題を捉えた事業提案がなされており、具体的で実効性の高い提案内容となっている。 ・施設長候補者の様子から、誠実さや、自信が感じられるとともに、施設運営に対する積極的な姿勢がみられ、指定管理者としての意欲が感じられた。
事業者Ｂ	・施設間の情報共有や、地域へのアウトリーチについての提案がより具体的であった。 ・海が近いという芝浦港南地区の特徴を踏まえた防災訓練の実施など、危機管理に対する高い意識が伺えた。 ・地域との連携に関して、実現に向けた取り組みの具体性が感じられず、実効性に乏しい提案であった。 ・施設長候補者の熱意や意欲があまり感じられず、施設長としての資質という部分で疑問が残った。

Ⅴ　最終選考結果について

最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」です。選考委員会の総意として、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」を港区立芝浦港南区民センター及び港区立台場区民センター指定管理者候補者として選考します。